

部局名

農学部 森林緑地環境科学科

担当:平田 令子



テーマ

網を張り鳥を待つ



森林に生息する多くの鳥類は、樹木の果実を食べ、その中に含まれている種子を色々なところに散布します。それは樹木の更新につながり、森林の維持や保全にもつながる重要な役割なのです。

では、どんな鳥がどんな種子を散布するのでしょうか。網を張って鳥が来るのを待ち、捕まえる。この技術があれば、その疑問に答えることができます。



詳細内容はQRコードから確認できます

のうがく図鑑: <https://www.miyazaki-u.ac.jp/agr/books/book-green/post-43.html>



オオルリの雄

夏に渡来する渡り鳥です。野外で見るとただの青い鳥ですが、捕まえて間近に見るとその美しさに驚きます。



鳥を捕まえるためのカスミ網

鳥に見つからないように草むらに張ります。捕獲には環境省の許可が必要。



捕獲されたエナガ

とても小さな鳥。日本の森林に多く生息しています。